

2026年度 九州大学大学院統合新領域学府

ライブラリーサイエンス専攻修士課程入学者選抜試験

(2次募集)

小論文問題冊子

試験時間 120分

注意事項

1. 試験開始の合図のあるまで、この問題冊子は開いてはいけません。
2. 試験開始後ただちに、「小論文」問題（1枚）、解答用紙（5枚）、下書き用紙（4枚）が揃っていることを確認してください。
3. 解答用紙のすべて（5枚）に受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入してください。ホッチキスは外さないでください。
5. 配布された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
6. 下書きをしたい場合は、下書き用紙を利用するか、問題冊子の余白（裏面等）を利用してください。
7. 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は回収します。

## 問題

時代とともに、情報の管理と提供のあり方は多様性を増しており、それらはいくつもの観点から整理することができるだろう。しかしここでは特に「集中と分散」「人間と機械」という二つの二元論的な軸から考えてもらいたい。例えば今の情報化社会においては、情報を集中させて一元的に管理と提供を行わずとも、分散させたままで高い実用性を実現することができる。また、人間が管理と提供を行うだけでなく、機械がその代わりに担うことも増えているといえるだろう。だが、これらは必ずしもどちらか一方のみが優れているというほど単純なものではなく、さらにはこれらの組み合わせ方によって良し悪しは大きく変わりうるだろう。そこで本小論文では、昨今の社会情勢や今後登場が予見される技術などを踏まえた上で、あなたが近い将来の社会において理想的と考える情報の管理と提供のあり方について、先に挙げた二つの軸に沿って 1200 字程度で論述しなさい。必ずしも二元論的にどちらかに偏って論じる必要はなく、どのようにミックスしてバランスをとるべきかなどを論じて構わない。